

### 3. 強震記録

イタリア強震観測ネットワーク(2009)によれば、56地点に置いて強震記録が得られている(Italian Strong-Motion Network, 2009)。主要な4地点で得られた強震記録を示すと、表-1の通りであり、いずれもラクイラ市周辺で得られた断層上盤側の記録である。このうち、AQV及びAQG観測地点に関しては、建築被害調査チームが現地を実際に確認しているため、後述の7.4(f)を参照して頂きたい。表-1に示した4観測点での地表付近30mの平均せん断弾性波速度は455~1000m/sである。最大加速度が観測されたのは、AQV地点であり、6.46m/s<sup>2</sup>であった。

図-3はAQV及びAQK地点における加速度記録である。図-4はこの他にラクラ周辺の8地点における強震記録の加速度応答スペクトルを示したものである。周期0.5秒の応答加速度に着目すると、AQVのNS成分では10m/s<sup>2</sup>、AQGのNS成分では8m/s<sup>2</sup>程度の値となっている。今後、地盤、地形条件等との関連を詳細に検討する必要があるが、周期0.5秒より短い領域で卓越する地点(AQV、Gran Sasso、Aquila Park)、周期0.5秒付近で卓越する地点(MTR、L'Aquila Aterno、Fiamignano)、周期0.5~1秒付近で卓越する地点(AQG)がある。

表-1 主要な強震記録

Station name	Station code	Latitude	Longitude	Type of ground	R <sub>e</sub> (km)	V <sub>s30</sub> (m/s)	PGA (m/s <sup>2</sup> )
Aquil Park	AQK	42.345	13.401	Conglomerate	5.6	455	3.66
V. F.Aterno	AQV	42.377	13.337	Fluvial	5.8	475	6.46
Colle Grilli	AQG	42.376	13.339	Limestone	4.3	1000	5.05
V.&F. Aterno	AQA	42.345	13.401	Fluvial	4.8	475	4.78

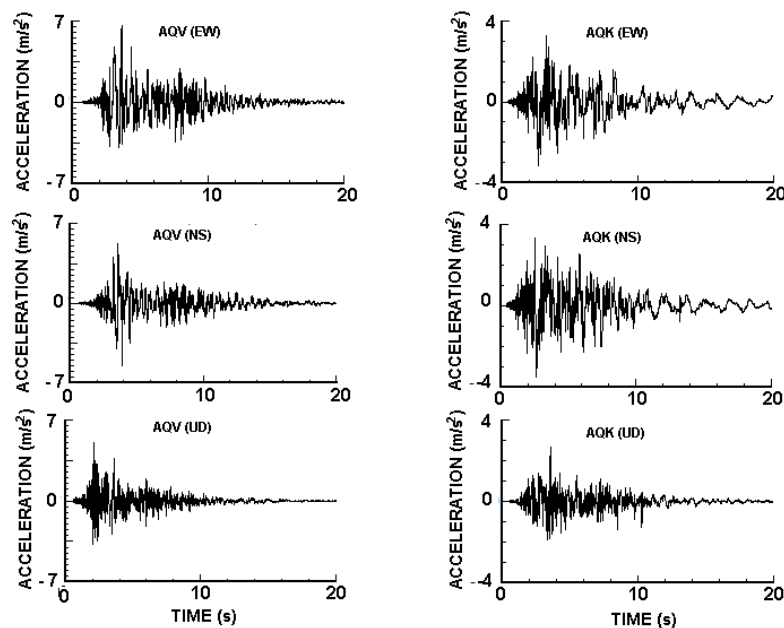


図-3 AQV及びAQK観測点での強震記録

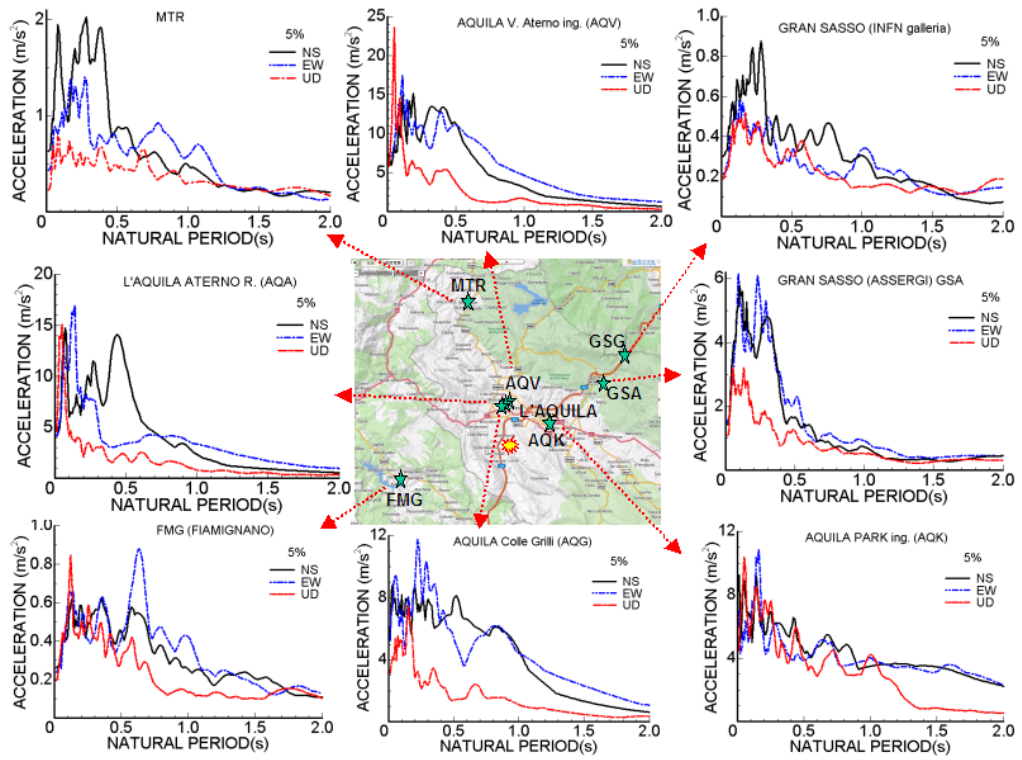


図-4 主要な8観測点における加速度応答スペクトル